



平成22年10月28日

各位

会社名 株式会社シャルレ
 代表者名 代表取締役社長 岡本 雅文
 (コード番号 9885)
 問合せ先責任者 経理部長 奥平 和良
 TEL (078)792-8565

業績予想の修正及び特別損失の発生に関するお知らせ

平成22年5月13日の決算発表時に公表しました業績予想を、下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。また、特別損失の発生につきましても併せてお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正

(1) 平成23年3月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(平成22年4月1日～平成22年9月30日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
					円 銭
前回発表予想 (A)	11,450	410	430	80	4.13
今回修正予想 (B)	11,511	1,254	1,272	1,227	63.33
増減額 (B-A)	61	844	842	1,147	
増減率 (%)	0.5	205.9	195.9	1,433.9	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成22年3月期第2四半期)	11,448	306	334	40	2.10

(2) 平成23年3月期第2四半期(累計)個別業績予想数値の修正(平成22年4月1日～平成22年9月30日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
					円 銭
前回発表予想 (A)	11,000	540	560	200	10.32
今回修正予想 (B)	11,321	1,443	1,396	1,165	60.16
増減額 (B-A)	321	903	836	965	
増減率 (%)	2.9	167.4	149.4	482.9	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成22年3月期第2四半期)	11,396	385	369	68	3.52

(3) 平成23年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
					円 銭
前回発表予想 (A)	23,300	680	710	200	10.32
今回修正予想 (B)	23,300	1,300	1,330	780	40.26
増減額 (B - A)	0	620	620	580	
増減率 (%)	0.0	91.2	87.3	290.0	
(ご参考) 前期実績 (平成22年3月期)	23,288	594	645	169	8.72

(4) 平成23年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
					円 銭
前回発表予想 (A)	21,530	750	800	400	20.64
今回修正予想 (B)	22,000	1,470	1,450	750	38.71
増減額 (B - A)	470	720	650	350	
増減率 (%)	2.2	96.0	81.3	87.5	
(ご参考) 前期実績 (平成22年3月期)	23,188	776	754	269	13.93

(5) 修正の理由

① 連結業績予想の修正の理由

第2四半期

売上高につきましては、概ね計画通りに進捗しております。

利益面につきましては、国内レディースインナー等販売事業において、ウエルネス商品、化粧品
の分野の開発、販売を強化したことにより、粗利益率の高い化粧品やファンデーションの販売の増
加につながり利益を押し上げる要因となりました。また、在庫評価損の減少による売上総利益の増
加、販売費及び一般管理費の経費を抑えられたことにより、営業利益において844百万円増加し1,2
54百万円、経常利益につきましても842百万円増加し1,272百万円に修正いたします。

四半期純利益につきましては、下記2.(1)の情報サービス事業にかかる特別損失を計上しました。
また、保有する有価証券の評価損(350百万円)を見込んでおりましたが、時価の回復により、評
価損を計上しなくなり、1,227百万円に修正いたします。

通 期

売上高につきましては、当社を取り巻く事業環境はまだまだ厳しい状況であります、当初の計
画通りを見込んでおります。

利益面につきましては、下期の国内レディースインナー等販売事業において、季節商品等の販売
ロスとして在庫評価損を見込んでいること、また、売上拡大に向けて販売促進を強化することから
販売費及び一般管理費の増加を見込んでおります。海外レディースインナー等販売事業、情報サー
ビス事業、LED照明販売事業においては、販路拡大を目指し展開を進めている段階であり販売費
及び一般管理費が先行をしている状況にあります。これらの状況から営業利益1,300百万円、経常
利益1,330百万円に修正いたします。

当期純利益につきましては、金融市場が不透明な状況であるため、保有する有価証券の評価損を見込み780百万円に修正いたします。

②個別業績予想の修正の理由

第2四半期

売上高につきましては、「下着のシャルレ」から「美と健康のシャルレ」へとブランドイメージをシフトすることを目指し、特にウエルネス商品、化粧品分野を中心に強化を進めており、概ね計画通りに進捗しております。

その取組みの結果、利益面につきましては、粗利益率の高いファンデーションや化粧品の販売が増加しました。また、滞留在庫の販売が進み在庫の評価損が減少したことにより売上総利益が増加しました。併せてコスト削減に努め販売費及び一般管理費が抑えられたことにより、営業利益において903百万円増加し1,443百万円、経常利益につきましても836百万円増加し1,396百万円に修正いたします。

四半期純利益につきましては、下記2.(2)の特別損失を計上しました。また、保有する有価証券の評価損(350百万円)を見込んでおりましたが、時価の回復により評価損を計上しなくなり、965百万円増加し1,165百万円に修正いたします。

通 期

売上高につきましては、当社を取り巻く事業環境は厳しい状況ではありますが、ほぼ当初計画通りの22,000百万円を見込んでおります。

利益面につきましては、季節商品等の販売ロスとして在庫評価損を見込んでいること、また、売上拡大に向けて販売促進を強化することから販売費及び一般管理費の増加を見込んでおります。これらにより営業利益1,470百万円、経常利益1,450百万円に修正いたします。

当期純利益につきましては、金融市場が不透明な状況であるため、保有する有価証券の評価損を見込み750百万円に修正いたします。

2. 特別損失の発生およびその内容

(1) 特別損失の計上（連結）

情報サービス事業を展開する子会社である株式会社エヌ・エル・シー コーポレーションにおいて、タッチ式ボイスリーダーペン（U-SPEAK）の販売をアジア圏で展開しておりましたが、販売状況等を鑑み在庫の評価を見直すこととし、特別損失にたな卸資産評価損として180百万円を計上いたします。

(2) 特別損失の計上（個別）

情報サービス事業を展開する子会社である株式会社エヌ・エル・シー コーポレーションにおいて、たな卸資産評価損を計上したことにともない、その財務状態等を鑑み当社の保有する子会社株式の時価相当額まで評価減することとし、特別損失に関係会社株式評価損として220百万円を計上いたします。

(注) 上記の業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき作成しております。予想には様々な不確定要素が内在しており、実際の業績はこれらの予想と異なる場合があります。

以 上